

●調査の概要
 ①調査方法 11～12月に行われた市民満足度調査と併せて、無作為に抽出した市民1,000人を対象に郵送方式で実施。自由記入項目を含む35項目から、1人につき3項目を選択する形式を採用しました。
 ※11月25日付けで調査票を発送。12月17日現在の集計結果を掲載しています。
 ②回答状況 有効回答者数461名 回答率46.1%

5月
3日・2007白石市民春まつり ・ホワイトキューブで第50回全日本こけしコンクール開催(～5日)。内閣総理大臣賞に市内の高山吉紀さん。9月に鳴子温泉で開かれた第54回全国こけし祭りでは、市内の六郷仁美さんが最高賞の文部科学大臣賞に選出
10日・田舎暮らし体験ツアー春編開催(～11日)。10月11日～12日には秋編を開催
11日・第32回こどもまつり
12日・薬師の湯ひまわりセンターの入館者が10万人を突破、記念セレモニーを実施
14日・東北電力白石営業所との間で、電力設備災害復旧に関する災害協定を締結
下旬・(社)白石青年会議所が1市2町の医療機関マップ「いざという時のあんしん医療マップ」を作成し、1市2町に寄贈
31日・壽丸屋敷で「第4回手づくりの市」開催(～6月1日)
6月
1日・碧水園で「第17回伝統芸能フェスティバル」開催
2日・白石市社会福祉協議会が、災害に備えて要援護者の台帳とマップを作成するため、本市を含む3者代表と協定を締結
6日・「ふるさと納税制度」に基づく寄付の申し込み受け付けを開始
15日・第6回市民ジャブボード大会開催
23日・壽丸屋敷で仙南地方の料理人がうーめんをテーマに創作料理を競う「第1回仙南料理対決」開催
7月
1日・公立刈田総合病院の新体制構築に向けた動きが活発化。8月1日に、東北大学教授の高林俊文氏が新院長に就任し、9月1日には東北大学教授の大高徹也氏が副院長に就任。また、自衛隊仙台病院が、医官3人を当直医として派遣(7月25日～翌年3月31日)。現在、病院改革プランを策定中
4日・市民バス「きゃっするくん」のラッピングバス第二弾「こじゅうろうくんバス」が登場
5日・白石城歴史探訪ミュージアムで博物館建設準備室第2回企画展「白石の古文書」開催(～9月23日)
8日・姉妹都市のあるオーストラリアから、グリーンリース使節団12名が来白(～13日)
27日・白石城で「SHIROISHIマスタ―白石ものしり博士」の初級「足軽編」を実施、22名が受検 ・登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業軟式野球大会開催 ・市内の中学生12名がオーストラリア・ハーストビル市を訪問(～8月10日)
8月
8日・JR白石駅前に建設していた観光拠点「小十郎プラザ」がオープン
11日・2008白石夏まつり開催(～下旬まで)
18日・市内の老舗温泉旅館、木村屋旅館が仙台地裁に民事再生法の適用を申請
23日・海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会開催
29日・市指定文化財の「旧刈田病院本館」を本年度に解体保存することを決定 ・10年ぶりに工業団地を造成する計画を発表 ・大河原町と協力して(費用折半)北白川駅に駐輪場を整備する計画を発表
9月
7日・南中学校新校舎が完成、落成式を実施
14日・第22回みやぎ蔵王高原マラソン大会開催 ・姉妹都市親善水泳大会2008開催
12日・武家屋敷催事「お月見と古文書展」(～9月28日)
13日・東中学校の3年生が学区内を網羅した防災マップを作成し、文化祭で発表
10月
1日・仙台・宮城デスティネーションキャンペーン開幕(～12月) ・白石城歴史探訪ミュージアムで博物館建設準備室第3回企画展「白石城下絵図」開催(～12月25日)
4日・白石城で「鬼小十郎まつり」開催、3,000人が来場
5日・弥治郎こけし村ふれあい祭り ・白石城茶会開催
12日・第80回白石市民体育大会 ・国内唯一の国際公認クラシックカーレース「ラ・フェスタミルレリア」の参加車が市内を通過
13日・白石市民吹奏楽団がホワイトキューブで設立30周年記念コンサートを開催
19日・不忘元気の会主催の「不忘オータムフェスタ」開催
26日・任期満了に伴う白石市長選挙が行われ、現職の風間市長が再選。電子投票で実施し、開票時間も短縮
11月
1日・第38回白石市民文化祭(～11月3日)
8日・第30回白石市農業祭(～9日)
16日・ホワイトキューブで第1回健康福祉まつりを開催。前年までのさわやかフェスティバルと福祉まつりを統合。
23日・第8回白石市友好の翼(～29日)実施。市民35名が、姉妹都市のオーストラリア・ハーストビル市を訪問
12月
19日・みやぎ蔵王白石スキー場開き
21日・武家屋敷催事「冬の会」
31日・白石城「除夜の鐘を鳴らす会」

市民が選んだ 平成20年10大ニュース

本市では、11～12月に実施した市民満足度調査と併せ、一般市民の方を対象としたアンケート調査を実施しました。全国的な医師不足の波が押し寄せた公立刈田総合病院や、仙台・宮城デスティネーションキャンペーン、片倉小十郎を軸にしたまちづくりなど、本年も話題に富んだ一年となりました。平成21(2009)年が市政、そして皆さんにとってさらなる飛躍の年となることを期待しています。

6位 (61票) 市民バス「きゃっするくん」のラッピングバスが登場(3月21日、7月4日)



▲小十郎バス(写真右)と、こじゅうろうくんバス

8月の「小十郎プラザ」オープン(JR白石駅前)や、10月の「鬼小十郎まつり」開催など、「片倉小十郎」を軸にしたまちづくりが進む本市。この流れの中で登場したのが、市民バス「きゃっするくん」のラッピングバスです。3月には、人気ゲームソフト「戦国BASARA」のキャラクターを使った「小十郎バス」、7月には第二弾として、本市の仙台・宮城デスティネーションキャンペーンキャラクターを使った「こじゅうろうくんバス」が登場し、話題になりました。

6位 (61票) 仙台・宮城DCに向けて、官民の動きが活発化(4月1日～)



▲多彩な小十郎グッズ

10月～12月に行われた仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)。このキャンペーンに呼応するかのよう、1月以降、官民の取り組みが活発化しました。白石城と片倉小十郎を組み合わせたシールステッカーやオリジナル缶バッジ、ペーパークラフト、創作こけし、オリジナルTシャツ、小十郎豆腐など、多彩な小十郎グッズが続々と登場したほか、白石地区タクシー事業団による白石の早覚えカード配布、観光案内所の女性3人による手作りマップの配布など、まちの活性化に向けた取り組みが各所で進められ、話題になりました。

8位 (57票) 赤ちゃん誕生応援事業(妊婦健診費用助成)を拡充(4月1日～)

4万人都市復活大作戦の、子育て支援事業の目玉施策として、平成19年4月から導入されたのが、妊婦健診費用の助成を拡大する「赤ちゃん誕生応援事業」です。平成19年度は妊婦健診費用助成を10回に拡大しましたが、平成20年度からは、さらに妊婦1人当たりの助成総額を67,530円に拡充。これは、県内13市中の中でトップの助成回数・金額です。今後も、妊婦の安全な出産を応援していきます。

9位 (49票) 災害時の安全・安心確保の取り組みが進展(2～5月)

本市では、災害時の安全・安心確保に向けて、数年前から各種団体との間で防災協定を締結しています。平成20年度も、2月8日にヨークベニマルとの間で、生活物資支援などの防災協定を締結したほか、3月6日には、白石市福祉施設連絡協議会加盟の8団体との間で、要援護者の避難受け入れ先確保などに関する協定を締結。また、5月14日には東北電力白石営業所との間で、電力設備災害復旧に関する災害協定を締結するなど、さまざまな取り組みを進めました。

10位 (41票) 本市の仙台・宮城DCイメージキャラクター、「こじゅうろうくん」が登場(1月16日)



▲こじゅうろうくんの缶バッジ

▲今後4年間の、市政のかじ取り役に

仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)白石市推進協議会が、一昨年の秋に募集した白石市のDCイメージキャラクター。厳正な審査の結果、仙台市在住の専門学校生、島軒佑介さんの作品「こじゅうろうくん」が選ばれました。41点に及ぶ応募作品の中から選ばれた力作で、その後、缶バッジや創作こけし、市民バスなど、さまざまなものに利活され、市民に親しまれました。

11位以降 11位は、2008年度の当初予算案発表のニュース(2月上旬、37票)でした。平成20年度は、妊婦健診費用助成拡大や小十郎プラザ建設、定住促進奨励金事業などの、4万人都市復活に向けて、子育て支援と定住促進に力点を置いた内容で、実質的な予算総額は、4年連続の減少となりました。以下、12位は市営住宅から暴力団を排除するため、白石警察署と連携を強化する協定を締結したニュース(1月15日、34票)、13位は、10年ぶりに本市が工業団地を造成する計画を発表したニュース(8月末、32票)と続きます。

1位 (155票) 公立刈田総合病院新体制、発進(7月～)



▲市民の安全安心確保に向けて、大きく動き出した刈田病院

白石・刈田地域の医療拠点としての役割を担う公立刈田総合病院。2月のチラシ配布(4位参照)より、市民から刈田病院の存続を危ぶる声が高まる中、7月以降、同院の新体制構築に向けた動きが大きく進展しました。新院長に東北大学教授の高林俊文氏(8月1日)、副院長に、同じく東北大学教授の大高徹也氏が就任(9月1日)。このほか、自衛隊仙台病院が医官3人を当直医として派遣(7月25日～翌年3月31日)したほか、現在、病院改革プランを策定中です。刈田病院は、市民の生命と健康を守る砦。全国的な医師不足問題が深刻化する中、新しい体制の下で、経営の改善や医師確保、地域医療ネットワーク体制の構築に取り組んでいます。

2位 (128票) 統合する白石高・白石女子高、新名称は「白石高校」に(1月16日)



▲新校舎建設が開始された、八幡町地内の工事現場

1月16日に行われた宮城県の定例教育委員会で、2010年度に統合・共学化する白石高校と白石女子高の、新校舎名が「白石高校」に決定したことが報告されました。両校関係者などによる検討会議が平成19年11月に選定。豊かな歴史と文化を誇る城下町「白石」の名称を、そのまま残そうと提案され、ほかの名称案はなかったとのこと。新校舎名称案は、9月の定例県議会に提出され、承認。既に10月から新校舎などの建設工事が始まっており、平成22年1月に竣工する予定です。

3位 (112票) 白石市長選挙実施、現職の風間市長が再選(10月26日)



▲今後4年間の、市政のかじ取り役に

任期満了に伴う白石市長選挙が10月26日、電子投票で行われ、現職・新人2名の一騎打ちとなり、激しい選挙戦の結果、現職の風間市長が再選を果たしました。4回目となった本市の電子投票は、遅滞なく終了。電子投票分の開票時間が、前回実施の市議会議員選挙より13分短縮の12分で終了し、不在者投票分を入れても40分の開票時間でし(最終確定時間:21時40分)。

4位 (109票) 公立刈田総合病院が作成・配布したチラシが話題に(2月28日)



▲配布したチラシ

全国的な医師不足問題が深刻化する日本。公立刈田総合病院でも4月以降、平成19年4月と比較して、10名ほどの常勤医師の減が見込まれるという非常事態が発生しました。同院では、勤務医の疲弊と地域医療の崩壊を防ぐため、かかりつけ医の利用促進と、夜間救急の安易な利用自粛を呼び掛けるチラシを作成・配布。市民の大きな関心を集めました。

5位 (62票) 乳幼児医療助成枠を拡大、通院費も小学校就学前まで無料に(4月～)

4万人都市復活大作戦の基軸をなす、子育て支援事業。本市では、乳幼児医療費の一部負担額を助成することにより、医療機会の確保と、家庭の経済負担軽減を図っています。これまでは、4歳未満の乳幼児の通院費と、小学校就学前までの入院費を助成していましたが、4月からは枠を拡大し、通院費についても、小学校就学前まで医療費を無料に。今後も、市民の皆さまが安心して子育てできる環境づくりを進めていきます。

2008年の主な出来事
 ※太字は10大ニュースの候補項目

1月
1日・白石城一周元旦マラソン、初日の出を拝む会
・1月以降、仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)に向けた動きが加速。白石城と片倉小十郎を組み合わせたシールステッカーやオリジナル缶バッジ、ペーパークラフトや創作こけし、オリジナルTシャツ、小十郎豆腐など、多彩な小十郎グッズが続々と登場。白石地区タクシー事業団による白石の早覚えカード配布、観光案内所の女性3人による手作りのマップの配布など、官民を問わず、まちの活性化に向けた取り組みを一斉に強化
2日・弥治郎こけし村でこけしの初焼き
6日・白石市消防団出初式
7日・武家屋敷催事「七草の会」
13日・平成19年度成人式 ・碧水園「舞台びらき」
15日・市営住宅から暴力団を排除するため、白石警察署と連携を強化する協定を締結
16日・宮城県教育委員会が、2010年度に統合して共学になる白石高校と白石女子高校の新校舎名を「白石高校」に決定 ・仙台・宮城DC白石市推進協議会が、白石市のDCイメージキャラクターを「こじゅうろうくん」に決定
17日・女性の力をまちづくりに生かして活性化を図ろうと、市内の女性経営者などをつくる「白石若女将の会(SYMA)」が発足
20日・「白石市手をつなぐ育成会」が「新年を祝う会・成人を祝う会」を開催
2月
1日・市民グループ「昔・むかしを伝える会」がすまいるひろばで豆まき大会を開催
2日・一昨年7月の台風4号で水没し、使用不能となっていた白石川サッカー公園が復旧
3日・武家屋敷催事「節分の会」
7日・2008年度の当初予算案発表。妊婦健診費用助成拡大や小十郎プラザ建設、定住促進奨励金事業など、4万人都市復活に向け、子育て支援と定住促進に力点を置いた内容に。実質的な予算総額は4年連続で減少
8日・ヨークベニマルとの間で生活物資支援などの防災協定を締結
10日・ホワイトキューブで「ひいてひかれて市民綱引き大会」を開催
21日・薬師の湯ひまわりセンターの宿泊者が1万人を突破し、記念セレモニーを実施
28日・常勤医師の減を受け、公立刈田総合病院が、かかりつけ医の利用促進と夜間救急の安易な利用自粛を呼び掛けるチラシを作成し、配布
3月
下旬・脳卒中や加齢などで低下した身体機能の回復訓練に特化したデイサービスセンター「サポートデイ・白石」が総合福祉センター内に開所
3日・武家屋敷催事「ひな祭り」
6日・白石市福祉施設連絡協議会加盟の8団体との間で、要援護者の避難受け入れ先確保などに関する協定を締結
7日・第27回公民館まつり(～9日)
16日・碧水園で「郷土の伝統芸能鑑賞会」開催 ・「白石市手をつなぐ育成会」が「卒業を祝う会」を開催
21日・市民バス「きゃっするくん」のラッピングバス、「きゃっするくん小十郎バス」が登場 ・蔵王のふもとの環境保全と畜産振興の両立を目指し、本市と県、住民、畜産業者など計13団体が公害防止協定を締結
26日・吉見教育基金顕彰式
28日・市庁舎1階に県内初となる「不要入れぬ回収ボックス」設置
4月
1日・妊婦健診費用助成を拡充。5回分の無料助成に加え、1回につき3,500円の助成を5回実施 ・乳幼児医療助成事業の枠を拡大、通院費についても小学校就学前まで無料に
26日・武家屋敷催事「端午の節句展」(～5月6日) ・白石城歴史探訪ミュージアムで博物館建設準備室第1回企画展「仙台藩の絵師展」開催(～6月30日)